

Housing topics

“走る蓄電池”が暮らしを豊かに

「V2H+太陽光発電」で目指せ！電気の自給自足！

「V2H(ブイツーエイチ)」という言葉を知っていますか？これは「Vehicle to Home(ビークルトゥ ホーム)」の略。簡単にいうと電気自動車(EV)に電気を蓄え、それを家庭で活用するための仕組みのことです。近年の電気代の高騰、自然災害の対策としても話題で、太陽光発電システム(PV)と組み合わせれば、電気代の節約や活用方法によっては電気エネルギーの自給自足が見込める場合も！そこで、すでに「V2H」を導入した活用事例を紹介します！

CHECK 1

V2Hの仕組み

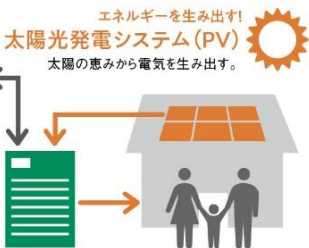
「V2H」のVehicle(ビークル)とは車を指し、ここでは電気自動車(EV)のこと。「V2H」は太陽光発電(PV)で“創エネ”した電気をEVに“蓄エネ”し、さらにその電気を家庭でも使えるようにするためのシステム。それを可能にするのが「V2H」用のパワーコンディショナー。「貯める」、「使う」、「売る・買う」をシーンに応じて使い分けしてくれるスグレものだ。つまり自然の恵みが自宅の電力にも、車の動力にも活用できるというワケだ！



走る蓄電池として大活躍！
電気自動車(EV)
EVの蓄電池を住宅用蓄電池としても活用。車にも使えて1台2役。



電力を生かす心臓部
EV用パワーコンディショナー



「V2H」の心臓部とも言える機器。PVで発電した電気や電力会社から買った電気、EV蓄電池に貯めた電気のいずれもココを中継し、制御されているおかげでスムーズに使用できる。

CHECK 2

(竣工/2017年より)

注目前から再生可能エネルギー「太陽光発電」を提案し続けている 先を見据えた宮田工業の実例

HOUSING DATA	長野市、家族構成/夫、妻、長男、長女	延床面積/132.68㎡(40.14坪)
	構造・工法/木造枠組壁工法(2×6)	1階/73.06㎡(22.10坪) 2階/59.62㎡(18.04坪)



エネルギーを“見える化”したり設備機器を自動制御するHEMSを導入。効率的にエネルギーを使って節電できるほか、iPadやスマホと連携させて日々の電気利用をチェック、出先でも操作可能！

CHECK 3

リアルな光熱費をチェック！

2023年4月～2024年3月の

電気料金合計……233,554円
売電収入合計……77,812円

電気代収支(12カ月)

155,742円の支払い

約7年目となる事例です。導入当初に比べ現在は売電価格は下がってしまいましたが、電気代高騰の現在、光熱費の節約に十分役立っています。また、当時の電気自動車に比べさらに蓄電できる自動車も増えていますので、本事例よりも結果が出るかと考えられます。さらに、導入時の補助金をうまく活用することで設置コストも削減できます。節約だけではなく災害時も安心な設備です。この7年を通じ、使い方により光熱費を節約できるご相談も可能です。百聞は一見に如かず！興味があればぜひご相談ください。

宮田工業株式会社 代表取締役社長 宮田栄一さん



ナガノ家

vol.23 / 2025春夏号

掲載中！

川中島モデルハウス随時見学会開催中！

ピクトリアン・スタイルをテーマに、モールドリングや巾木、シャンデリアを引き立てるメダリオンなど、細部の装飾にもこだわり、優雅さが薫るモデルハウス。東側に設けたキッチンとダイニング空間は、天井高を変えて開放感を演出。セカンドリビングをイメージして設計された、パノラマウィンドウのある多角形の空間もご紹介します。

※詳しくは、実際に見学＆体感ください！



モデルハウス案内図はこちら



HPはこちら

Quoカード3000円分プレゼント！
キャンペーン実施中！詳しくはHPへ



Instagramはこちら

次号予告

2025年3月
特集は！
「住宅豆知識情報」

お楽しみに！！

※特集は都合により変更になる場合がございます。